

就学時における切れ目のない連携による支援の実態と課題

～聞き取り調査の結果から見えてきたこと～

○古谷 絵美（湖南省社会福祉課発達支援室）

1. はじめに

湖南省は、平成 14 年に開始した「湖南省発達支援システム」（以下「システム」という。）を活用し、乳幼児期から就労期までの切れ目のない連携による支援を行っている。

これまで、発達支援室の保健師（以下「保健師」という。）が、就学時の引継ぎに直接関わることはなかったが、小学校入学後に行き渋りや不登校となり、保健師が保護者支援をするケースがある。その場合、なんらかの発達課題を持っていることが明らかになることも多く、保育園・幼稚園（以下「園」という。）では支援の必要なケースとして対応されていたのか、就学時に園から引継ぎを受けていたのか疑問に思うことがある。そこで今回は、システムの中で支援が必要な児について、就学時、確実に園から小学校へ引継ぎができ、その後継続した支援に結びつけることができているのかどうか確認を行い、連携の実態と課題を明らかにしたので報告する。

2. 調査方法

市内 9 小学校 1 年生（通常学級在籍児）501 名について、各学級担任（以下「担任」という。）20 名に対面での聞き取り調査を行った。質問項目は、学級在籍人数・個別の支援が必要な児童数・引継ぎはなかったが個別の支援が必要だと感じた児童数・引継ぎが得られなかった理由である。また、昨年度の就学指導委員会にて各園から諮問・報告事例として挙げたケースを予め事前情報として抽出しておき、各小学校に引継ぎの有無を確認した。

3. 分析方法

聞き取り調査終了後に、それぞれの質問項目に対する解答を類似した内容ごとにカテゴリーを作成し、単純集計を行った。

4. 結果

通常学級在籍児童数のうち「何らかの個別の支援が必要であると考えられる児童」は 138 名（27.5%）であり、「園からの引継ぎはないが、入学後に個別の支援が必要であると感じた児童がいる」と回答した担任は 19 名（95%）であった。支援が必要な児童のうち、35 名（25.4%）が園からの引継ぎが得られなかった児童であった。その理由は、「学習面での課題を持つ児童は園生活の中では気付きにくい（25.7%）」「就学直前に市外からの転入・未就園のため（37.1%）」という学校側の意見があった。それ以外のケースについて、報告事例には挙がっていた児童や集団生活の困難さ、行動上の困難さにつながる課題を持つ児童もあり、なぜ引継ぎができなかったのか疑問に感じたので園に確認すると「保護者の理解が得られなかった

（8.6%）」「引継ぎが必要であるという判断にならなかった（28.5%）」との意見があった。

5. 考察

担任の捉え方や支援の程度の違いもあるかと思うが、通常学級の中で、およそ 27% の児童に何らかの個別の支援が必要であると担任は感じていたことがわかった。そのうち、園からの引継ぎが得られず対応に困ったケースの存在も明らかになり驚いた。これについては、「学習面での課題を持つ児童は園生活の中では気付かれにくい」「就学直前に市外からの転入・未就園のため、システムに沿った引継ぎがなかった」という学校側の意見と、「引継ぎについて保護者の理解が得られなかった」「引継ぎが必要であるという判断にならなかった」という園側の意見があり、今後は、市内の園に通園しているケースの引継ぎについて、対象から漏れることなく確実に引継ぎが行われるよう改善することが課題である。そのためには、漏れることなく引き継ぐための園側の視点を明確にし、園と共通理解していく必要がある。また、市外からの転入・未就園の児童の引継ぎについては、学校教育課との連携も強めていくことが大切であると考える。

6. まとめ

今回の調査について、園、小・中学校それぞれの特別支援教育コーディネーター連絡会議で、結果を報告する機会を設定し、次年度の引継ぎに向けて調査結果を有効に活用できるよう提案した。

実際この調査の後、担任から保護者支援の必要なケースの連絡を受け、相談につながった事例もある。

今後はこの調査を継続するにあたり、引継ぎが得られなかった児童を個別の事例として、具体的に調査を行い、小学校でどのような場面で対応に困っているのかなど事例検討を園と行いながら、漏れることなく引き継ぐための園側の視点を把握し、確実に引継ぎが行われるよう改善していきたい。

7. おわりに

発達支援室では学齢期終了後の人を中心に関わっているが、今回の調査をふまえて、就学時前後の支援体制の中にも保健師として関わりながら、乳幼児期からの切れ目のない支援を継続していくことの必要性を再認識した。

7. 参考文献

子吉知恵美「就学前の発達障害児の支援体制について—継続支援のための一考察—」石川看護雑誌 Vo.7.2010